

第 6 編第 8 章

椿～現代簡易訳～

椿は薔薇の作り方と似ているので、差をつけるのが大切です。ここでは八重を作ります。葉は単葉なので、バラとの違いは見てすぐわかります。つぼみの額のつけかたもバラとはことなりますから注意しましょう。

布片の切り方

花は外側-白、内側-桃色

白の絹 6 分 50 枚、桃色 5 分 5 厘 50 枚

葉 絹濃い緑 1 寸 7 枚、7 分 3 枚

額 蕾部分絹薄緑 3 分 5 厘 4 枚

摘み方

花 白と桃色の二重丸つまみ、腰を平らにカット

葉 同じ大きさの布だが、摘むときに、大小若干差が出るように腰をカットする。



葺き方

枝は茶色、バランスを整えて貼り付ける。

花は 5 枚を十分ひろげて葺く。輪郭が決まったら、5 枚ずつ葺く。最後は花芯として、渦巻き型の摘みを葺く。

蕾は 1-2-1 と段葺として、全部で 4 枚をバランスを見て葺く。

葉は大中小をバランスよく葺く。葺いたら、摘みを平らに開き、椿の葉のように整える。